

# 古河エレコムがご提案する 電気設備を水から守る 止水材料シリーズ **管 路 口**

## とめ太郎™

**特 長** 流水状態でも施工可能な硬化しない止水パテ剤

- ①あらゆる物にしっかり密着するので流水状態でも施工が可能です。
- ②一液性なので使い切る必要もなく長期保管できます。
- ③不乾性で硬化せず撤去、再充填ができます。
- ④管路口用途での水密性は0.05Mpaです。
- ⑤耐熱温度は安心の+90℃(難燃性ではありません)



### 主な用途

- 管路口、ベルマウス周りの止水 ●スリーブ周りの止水
- コンクリート目地・クラックの止水 ●漏水予防



### 製品ラインナップ

※すう太郎は管路口を止水する際に使うバックアップ材です。

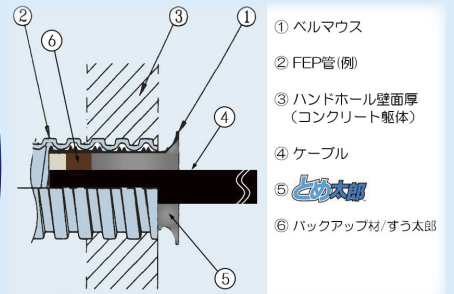
製品名	販売単価	内容
とめ太郎	1kgカップ単品	パテ1kg
	5kgカップ単品	パテ5kg
	8kg箱	1kgカップ×8個入
	10kg箱	5kgカップ×2個入
すう太郎 (バックアップ材)	1本単品	縦3×横5×長さ100cm
	1箱	すう太郎5本入

### 施工のポイント

- ① 軍手、水入りバケツ、タオル(雑巾)、木の棒(竹へら等)、コンベックスを用意して下さい。
- ② 粘性がとても高いので軍手を水に浸しながら充填作業を行って下さい。  
・水に浸す事でとめ太郎が軍手には密着し難くなります。
- ③ 水みちを断つように対象物にしっかり押し付けて密着させて下さい。
- ④ 予めとめ太郎を玉状に成形し作り溜めておくと効率的に充填作業が行えます。



### 管路口の施工方法



- ① ベルマウス
- ② FEP管(例)
- ③ ハンドホール壁面厚(コンクリート躯体)
- ④ ケーブル
- ⑤ とめ太郎
- ⑥ バックアップ材/すう太郎

とめ太郎の充填圧100mm

### 推奨施工手順

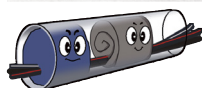
※とめ太郎充填厚が確保できれば推奨工法以外の方法で施工されても問題はありません。

#### 1 バックアップ材の挿入



- 指や先端の丸い棒状の物を使い管路口から100mmの位置まで押し込みます。(コンベックスで計測)
- 所定の位置まで円を描くように均等に挿入して行きます。

#### 2 とめ太郎の初期充填



- ケーブル同士の隙間→下部→左右→上部の順で詰めて行きます。
- 管路口から50mm程度まで充填します。

#### 3 とめ太郎をバックアップ材まで押し込む



- 狭い場所は濡らしたタオルの上から先端の丸い棒状の物で押し込みます。
- 管路口から50mm程度の空間ができるまで指や濡らしたタオルを使い管路内に押し付けます。

#### 4 とめ太郎の仕上充填



- 管路口まで③の工程を繰り返し充填します。
- 管路口のとめ太郎表面が平らになるよう濡らしたタオルで軽く叩いて仕上げます。

ご用命・お問い合わせは販売代理店までお願いします

製造：EPJ 株式会社 / 販売：古河エレコム株式会社

※完全止水を保証する製品ではありません。※製品仕様・チラシ内容はお断りなく変更することがありますのでご了承下さい。

古河エレコム



# 古河エレコムがご提案する 電気設備を水から守る 止水材料シリーズ **開口部**

## 開口部浸水対策品

# 2液混合タイプ 液状樹脂止水材料 (ウレタンゴム系)

## 特長

- ①低粘度・高流動性  
・混合初期は液状なので細かな隙間や複雑な形状部分にも注入できます。
- ②難燃性を備えています。  
・酸素指数:OI値30以上
- ③ゴム状に硬化し高い気密・止水性が得られます。  
・充填厚50mmで0.1Mpa/72時間の水密性
- ④必要量だけ計量して混合  
・様々なサイズの開口部に対応できます。

## 主な用途

### 建屋のピット・ダクトの貫通開口部を耐水化



「建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン」対応

### 地下設備の漏水予防とケーブル盗難抑止効果



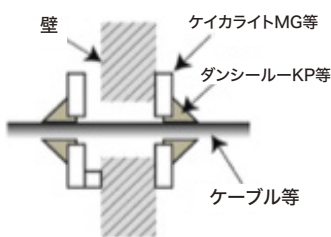
モルタル埋め戻し用受け材を使った壁面止水

## 製品ラインナップ

※配合比(質量比)5(基剤):1(硬化剤)

名称	基剤(kg)	容器形状	硬化剤(kg)	容器形状	硬化物の色
5kgセット	4.2	丸缶(166φ×210H)	0.8	角缶(63W×117L×165H)	ダークグレー
20kgセット	16.7	ペール缶(305φ×365H)	3.3	角缶(110W×150L×232H)	

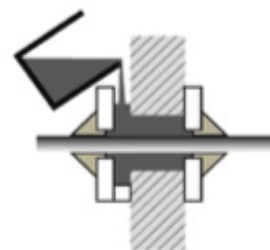
## 施工手順



1 ダムを作る



2 2液を混合・攪拌する



3 流し込む



4 ゴム状に硬化します

## 施工例

- ・ケーブルを吊り上げたり、まとめたりする必要はありません。
- ・ケーブル占有率が高い場合や狭小エリアにおいても液状樹脂材料なので流し込みによる充填が可能です。
- ・硬化後の解体には時間が掛かりますので後入線の計画がある場合は予め予備管を入れておく事をお勧めします。



ご用命・お問い合わせは販売代理店までお願いします

製造：株式会社古河テクノマテリアル / 販売：古河エレコム株式会社

※完全止水を保証する製品ではありません。※製品仕様・チラシ内容はお断りなく変更することがありますのでご了承下さい。

**古河エレコム**